

PM<sub>2.5</sub> の日平均値の累積度数分布

PM<sub>2.5</sub> の濃度分布を特徴付けるための1つの方法として、日平均値の累積度数分布を作りその分布形を示した。ここでは、対数正規確立紙にプロットした。このプロットの利点のひとつには、年平均値及び98%値の推定値がわかることがある。

図には、足立区綾瀬、多摩市愛宕、永代通り新川（2015年度までは京葉道路亀戸）、甲州街道国立のプロット（2014~2017）を示した。全体としては大きな変化は見られないものの、綾瀬、新川、国立の濃度は経年的に低濃度域に移動していることが伺える。2017年度の高濃度と低濃度域で濃度の低下傾向が見られるが中濃度域では増加傾向が見られた。

